

○学校の概要

本校はＪＲ本郷駅と三原駅のほぼ中間に位置している。校区の中央には沼田川が流れ、周辺の水田に水を配し、南部の天井川も含めて流域には古墳も多く、古代から栄えていたことがうかがえる。

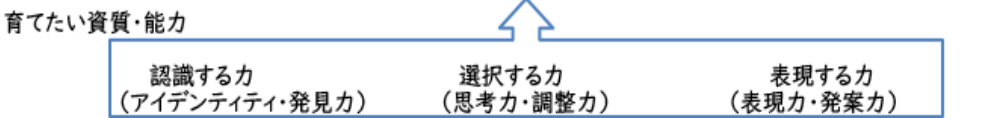
かつては安芸の国の東端にあたり、北には禅宗の総本山である仏通寺、西には小早川家歴代の墓所を持つ米山寺があり、その他古くからの神社仏閣も多く、中世には沼田荘と呼ばれた実り豊かな田園地帯である。

校区は三原市では最大の５小学校区を合わせたもので、面積においても三原市の７分の１を占める広さである。片道５km以上の道のりを通学している生徒も少なくない。

昭和２２年	４月	豊田郡沼田東村立中学校 組合立小泉沼田西中学校設立認可 豊田郡長谷村立長谷中学校設立認可	
昭和２４年	５月	学校統合により豊田郡学校組合立沼泉中学校設立認可 豊田郡学校組合立本郷中学校長谷分校に改名	
昭和２８年	１月	豊田郡長谷村立長谷中学校に改名	
昭和２８年	３月	豊田郡長谷村と三原市が合併につき長谷村立長谷中が三原市立第五中学校に校名変更	
昭和２９年	４月	豊田郡沼田東町・沼田西町・小泉町と三原市が合併につき沼田東村立中学校が三原市立第六中学校に校名変更	
昭和３６年	４月	第五中学校と第六中学校が統合し三原市立第五中学校となる	
昭和３７年	２月	三原市立第五中学校校舍新築起工	
昭和３８年	９月	新校舍落成に伴い統合 (長谷教場、沼田東教場を合わせるとともに高坂地区を本郷中学校より編入)	
昭和３８年	９月	三原市立第五中学校新築校舎（Ａ棟・Ｂ棟）落成	
昭和４０年	４月	三原市立第五中学校講堂兼体育館の落成	
昭和５６年	７月	プール落成(６コース、２５m)	
昭和５９年	３月	Ｃ棟(理科室・技術室外)・体育棟(課外クラブ室・体育倉庫外)落成	
平成 ３年	３月	屋内運動場・格技場落成	
平成 ５年	３月	グラウンド竣工	
平成１４年度		文部科学省「学力向上フロンティア事業」研究指定校(～１６年度)	
平成１７年度		文部科学省「理数大好きサブ地域事業」研究指定校(～１９年度)	
平成１９年	１２月	三原市立第五中学校新校舎（管理棟・教室棟）竣工	
平成２０年度		文部科学省委嘱「広島県道徳教育実践事業」推進校指定(～２１年度)	
平成２３年度		文部科学省委託「新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上等の方策に関する調査研究」指定	
平成２４年度		広島県「学力向上総合対策事業」研究指定校	
平成２５年度		広島県「学力向上総合対策事業」研究指定校	
平成２６年度		市町の挑戦支援加配指定	
平成２７年度		広島県「学力向上チャレンジ校事業」推進地域指定、市町の挑戦支援加配	
平成２８年度		広島県「学力向上チャレンジ校事業」推進地域指定	
平成２９年度		市町の挑戦支援加配指定	
平成３０年度		広島県「生徒指導実践指定校」	
令和６・７年年度		ＮＩＥ実践指定校	

令和7年度 三原市立第五中学校 学校教育全体計画
広島県：広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる日本一の教育県の実現
三原市：志を抱き、その実現に向けて考え、行動できる未来の創り手の育成
校訓 自主 協同 勤労
学校教育目標 考え、表現し、自ら伸びる生徒の育成 ～ 自律・尊重・向上 ～ 新たな価値を創造するために、主体的に考え、豊かに表現し、自分の力で伸びることができる 【自律】生徒自ら考え判断し行動する・選択する 【尊重】一人一人が唯一絶対的存在として、互いを導ぶ 【向上】やってみたいと思う・自己肯定感

目指す生徒の姿・脱却したい生徒の姿		
自律	尊重	向上
目指す姿 ○自ら考え、判断し、行動する生徒 ○自分の生き方を考える生徒 ○学び方を自己評価し、学習方法を改善できる生徒(＝R80)	○自他を尊重し合い、いじめや偏見、差別を許さない生徒 ○三原市を愛し、母校を誇りに思う生徒	○「自分はどうしたいのか」間続け、目標を設定できる生徒 ○夢の実現に向かって挑戦し続ける生徒
脱却したい姿 ○自分で決められず、友達に流されてしまう ○きまりを守れない	○相手によって態度を変える ○みんなのこと、全体が考えられない	○すぐにあきらめて、やめてしまう ○失敗を恐れる ○わからないが言えない



重点項目		
確かな学力の育成 質の高い授業の提供と 教員の学びの確保 ・主体的な学びを促す授業づくり(PBL＝プロジェクト型学習) ・全授業でのR80完全実施とR80を核とした授業デザイン ・ICT・学校図書館の機能の活用、NIE ・モジュール学習の実施と工夫 ・家庭学習習慣の確立 ・学力向上部	豊かな心と 健やかな身体の育成 ・自己指導能力の育成 ・生徒主体の活動の充実 ・学級集団作り(学級活動の授業改善) ・命を守る防災教育 ・地域への貢献活動の促進 ・生徒指導・相談活動の充実 ・不登校生徒への対応	信頼される学校 ・組織的な学校運営体制 ・組織的アセスメント ・不祥事防止 ・保・幼・小・中連携 ・ボトムアップによる業務改善 ・教職員のやりがい ・情報発信

研究主題	大切にしていること
発見し、発案し、実現する力を育成する授業の創造 ～ 総合的な学習の時間を核としたPBLを通して～	○ありのままを受け止め、情報を共有し、組織的に対応する ○言葉や行動に表せない生徒の思いに気づく ○そのために日々、もう10m先に行き、もう5分長く生徒と共に過ごす ○教育相談を計画的継続的に実施する

○学級編制・生徒数（令和7年5月1日現在）

学年	1 学年		2 学年			3 学年			特別支援学級				合計
組	1	2	1	2	3	1	2	3	自閉症・ 情緒障害A	自閉症・ 情緒障害B	自閉症・ 情緒障害C	知的障害	
生徒数	40	40	33	32	35	30	28	30	6	4	7	4	289
合計	80		100			88			21				

令和7年度

学 校 要 覧



三	二	一	校歌
仲若起国あ松 びいてのし風 ゆ血鎮たか く潮ちめ夕お だかかべる わいに れえあわ神 だけ学お森 よ励びぎ 世み含つ 紀夢あにつ の子より らだ	た古聞国昔みな がいけの命今と す史ひかも遠 手だび とき沼流く 手育あ田れ沸 だてり川つぐ よはぐ た力る水 ゆ郷あかの ま土り ぬ腕だ	自広見国の中静 主いよの空か の天柱高に 翼地光かく だだあり鷹そ 鍛はさ巢そ えばたと山朝 たけしにつ はけありの ねかしや だけり よ	作詞 上村 貞章 作曲 鈴木 けんご

三原市立第五中学校

所在地	〒723-0145 広島県三原市沼田東町片島532番地
電話	0848-66-0215
FAX	0848-66-1609
メールアドレス	dai5-jh-info@mihara.ed.jp
URL	http://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/jh-daigo/